

伊予市

じんけん教育

2012
No.

14

一人ひとりの人権が尊重される、明るい伊予市をめざして

編集・発行 / 伊予市教育委員会 (〒799-3113 伊予市米湊768番地2 ☎089-982-5155) 愛媛県人権教育協議会伊予市支部

地域とのつながりのなかで
心を育てる保育を目指して

みどり保育所

みどり保育所は、谷上山のふもとに位置した、地域性あふれる緑豊かで家庭的な保育所です。そのような環境のなか、「明るく元気な子」「最後まで頑張りぬく子」「やさしく思いやりをもった子」を保育目標に取り組んでいます。

園児たちは地域の方にお世話になって、春にはじゃがいもを収穫、また秋には芋掘りなど、いろいろな体験をさせてもらっています。園内の畑でも季節に合わせて、グリーンピース、たまねぎ、なす、ほうれんそうなど様々な野菜作りにも挑戦しています。通りがかりの地域の方が、「はよ間引きした方がええよ」「それは肥料が足りんのよ」などと、声をかけて教えてくれます。ミ

ニトマトは上へ上へ伸ばすため芽切りするのと、きゅうりのツルをきれいにはわ



さつまいも「大きいだろう」

すために洗濯バサミを代用することなどを教えてくれ、子どもたちも日に日に大きくなる野菜を見て、「明日は食べられそう」「友だちにも分けてあげよう」など楽しんで世話をしています。

グリーンピース収穫
「たくさん採れたよ」

収穫した野菜は、給食の食材になることはもちろんのこと、保育所で飼育している鈴虫のエサにもなります。飼育ケースをみんなで取り囲み、採れたてのみずみずしいきゅうりを切ると、「わー、きゅうりのにおいがする」「ゴーヤを切ると「わー、苦そうなおい、鈴虫さん食べんと思うよ」翌日、鈴虫が食べた跡のあるゴーヤを見て、「鈴虫さん、ゴーヤ食べとる。えらいね」「どの野菜が一番好きかな?」と、鈴虫の気持ちになって考えたり友だちと相談したりして世話をしています。

秋祭りには、獅子舞も保育所に来てくれました。メンバーの中には卒園児も多

く、保育所に入るなり「滑り台、こんなに小さかったかな?」「わしも、この卒園児なんよ」と懐かしがる姿もありました。獅子舞の太鼓の音が響き出すと近所の方々も集まってくださり、秋空の澄んだ空気のもと、ほのぼのとしたあたたかい空気が流れました。

その後、子どもたちは獅子舞に憧れて、ダンボールや色紙を利用して自分たちの獅子舞を制作しました。五歳児が主となり、みどりっこ獅子舞の始まりです。本物を見て怖くて泣いていた子どもも、お兄ちゃんお姉ちゃんの獅子舞は大好きです。

子どもたちがこういった伝統文化に触れて、人のぬくもりを感じたり、郷土を愛する心が育ったりしてくれればと思います。また、日々の生活のなかでお互いに認め合い、自分を大切にしている気持ちを高めながら地域とのつながりを大切に成長していくことを願っています。

獅子舞ごっこ
「未来の後継者」

伊予市立
中山小学校

人権・同和教育への取組

人とつながり合う力を伸ばす

中山小学校では「豊かにたくましく生きる中山っ子の育成」を学校の教育目標として日々の教育活動を行っています。人権・同和教育では「心のつながりを深め、共に伸びる仲間をつくらうとする児童」を育成することを目標に、仲間意識を育み、認め合い、戒め合い、支え合う集団をつくるために取り組んでいます。今回は「つながり合う力を伸ばす異年齢集団活動・交流活動」の一部を紹介します。

全校縦割り班活動

全校を赤と青の二色に分け、全体で八つの班を構成します。

一年生から六年生まで二、三人ずつ合わせて十数人で班をつくります。この縦割り班で、運動会やがんばり遠足などの行事、一年生を迎える会やお楽しみ集会な



縦割り班対抗おんぶりレー



3年 なべなべそこぬけ



6年 背中に乗せて水遊び

どの集会活動を楽しんでいます。また週に一回、班ごとに遊びを決めて全校で縦割り班遊びを行っています。これらの活動を通してつながりを深め、共に伸びる仲間づくりを進めています。

幼・保・小交流活動

思いやりの心を持ち、自分のよさを発揮しながら豊かにつながり合い、自信をもって生き生きと活動する子どもを育てるために、地域の環境を生かしながら、幼・保・小の交流活動を積み重ねています。

学年ごとにそれぞれの施設と一緒に探検したり、訪問先での交流を重ねたりしました。また、サツマイモの苗植えと収穫、運動会競技への招待など、学校全体の交流も進めました。

緊張がほぐれ自然なやりとりができるようになります。心のつながりがいっそう強まってきます。お互いのよさをたくさん見つけ、信頼し合って活動できるようになりました。

小学生として頼られる喜び、相手のことを思いやり優しく接する喜びを感じることで、児童の人権感覚が育ち磨かれていきます。



1・2年 秋のフェスティバル



全校 サツマイモの収穫

第13回 人権を考える市民の集い

2011 (平成 23) 年 11 月 3 日 (木) 伊予市市民会館



「人権を考える市民の集い」の開催に合わせ、市内の児童・生徒及び市民を対象に人権啓発作品を募集したところ、今年も大勢の皆さんから心のもった作品が届きました。

当日は、入選者の表彰と作文朗読、並びに人権ポスターをスクリーンに投影しながら、その作者のポスターに込めた思いを紹介しました。

その後、教育サポーターの仲島正教さんの記念講演がありましたのでその一部を紹介します。

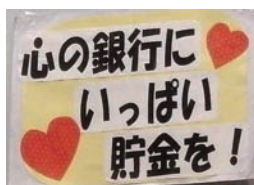
記念講演

あーよかったな あなたがいて
「優しい」という温かい貯金

講師 仲島正教 さん
(教育サポーター)



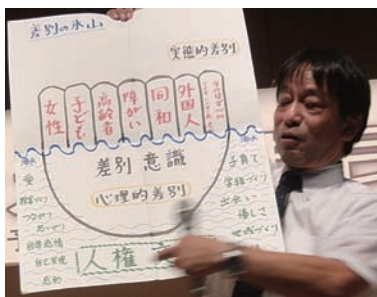
自分の心が辛い、しんどい時、憂いの気持ちになった時、そばにいてくれて、一緒に「頑張れ!」と言ってくれる仲間。それが本当に優しい人であり仲間である。



心の銀行に優しさが貯まっていくと子どもたちは優しい人になっていく。それだけではない。これからの長い人生で、しんどい時・辛い時、この貯金を使って乗り越えることができる。

逆に、優しさの貯金がない場合、しんどいこと、辛いことに会った時、「どうせ僕なんか、ほっといてくれ。自分のことなんか嫌いや!」と投げやりな態度になる。さらに、人に対して嫌なことをするようになる。優しさの貯金があるとないでは随分違ってくる。

海の上に浮かぶ冰山。水面上に見えているのが実体的差別。水面下にあるのが心理的差別。女性・子ども・高齢者・障がいのある人・同和問題・外国人等、あからさまな差別は山ほどあった。

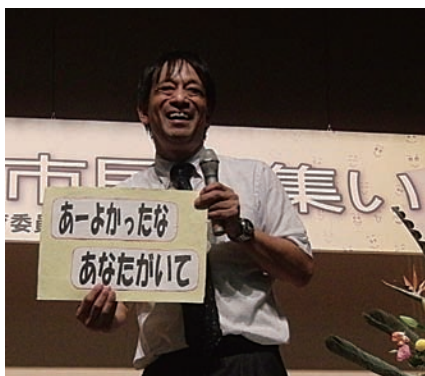


これまでの同和教育の取組によって、これらの差別はほとんど解消されてきた。「今見えている差別はほとんどなくなってきた」と言いたい。しかし、目に見える差別は少なくなってきたが、差別落書き・インターネットへの書き込み・結婚差別等々、水面下にある目に見えない差別はまだ残っている。この見えない差別・心理的な差別をなくすためにどうしたらよいのか。

海水の温度を温めたら、冰山は根こそぎ溶けていく。それと同じように、出会いやつながり、優しさや思いやりの温度を上げていく。そして、人権意識を高めて、子育てや学級づくり・地域づくりに取り組むことが人権文化につながり、心理的な差別の解消につながっていくものと考えている。

卒業式が近づいたある日、子どもたちに、偉い順に並んでおくよう指示を出した。子どもたちに戸惑いや反感・苦悩があったようだが、結論を出してきた。男女が交互になって、中を向いて一つの円になって教室で待っていた。「誰が一番ええ人間か」と尋ねると全員が手を挙げた。「誰が一番悪い人間か」と尋ねると全員が手を挙げた。

子どもたちの熱い眼差しに思わず涙が出た。全員の顔が見える。一人の憂いや喜びを全員で共有できる。励まし合える。出来るか出来ないかではなく、するかしないかを大切に!



平成 23 年度

第三十四回伊予市人権・同和教育研究会

研究主題 「豊かにかかわり、共にによりよく生きようとする児童の育成」

「人権感覚を高め、人を大切にする態度や行動力を育てる指導」

H23.11.30

伊予市立
北山崎小学校

第三十四回伊予市人権・同和教育研究会が十一月三十日、北山崎小学校で行われました。北山崎小学校では、「豊かにかかわり、共にによりよく生きようとする児童の育成」人権感覚を高め、人を大切にする態度や行動力を育てる指導を研究主題に、道徳の時間や各教科で人権意識を身に付ける授業を展開するとともに、温かい仲間づくりや環境の工夫などを通して人権・同和教育の研究を続けています。

全学級の授業公開

研究会の前半は、全学級の授業を公開しました。

各学年の

実態や発達段階に合わせ、研究主題に迫れるような授業展開を行いました。



講演会

「人権文化の町づくりに向けて」

後半は石川達也先生（今治特別支援学校校長）の講演会を開催しました。「人権文化の町づくりに向けて」という演題の講演には、保護者・地域の方々・市内の教職員など二百名余りが耳を傾け、様々な視点から人権教育について考えることができました。講演は、「身の回りの人権問題」

道徳・生活科・学級活動・保健体育・図画工作・総合的な学習の時間などの指導案に「人権・同和教育の視点」を明記し、教師も子どもたちも人権意識をもって授業が展開できるようにしました。



講演会の様子

に始まり、「知的理解が人権問題を解決に導くこと」、「いじめをなくしていく方法」など、いろいろな視点からお話をいただき、最後は、江口いとさんの「人の値打ち」の詩で結ばれました。未来に差別を残さないための方策や、私たちがどのような気持ちや考えをもって生活していくかねばならないかなど、大変分かりやすく、またユーモラスに話していただきました。伊予市が人権文化の町づくりの中心となるよう私たちも頑張らねばと思いました。

地区別人権・同和教育懇談会

～みんなが幸せになるために～

中村地区公民館

北山崎校区では、十一か所の各地区集会所で「地区別人権・同和教育懇談会」を開催しています。この懇談会では「人として生まれながらにもっている基本的な権利を互いに尊重し合い、その信頼の輪をどのように広めるか」を地域の皆さんと共に学ぶ場として考えています。

今年の懇談会は、『人権のヒント 地域編「思い込み」から「思いやり」へ』という日常生活の中で起こる様々な人権問題を題材とした人権啓発ビデオを視聴し、その後グループによる話し合いをしました。北山崎校区の特長として、子ども連れで参加される会場も多くみられ、参加者がそれぞれの立場で感想や考えを活発に発表しました。事前に開催している人権・同和教育推進委員会では、参加した者同士が話し合う場をもつと、次からは参加者が減少すると懸念する意見が度々出ていました。そのため話し合いをするにはグループとされ、なかなか取り組むことができなかった現実がありました。



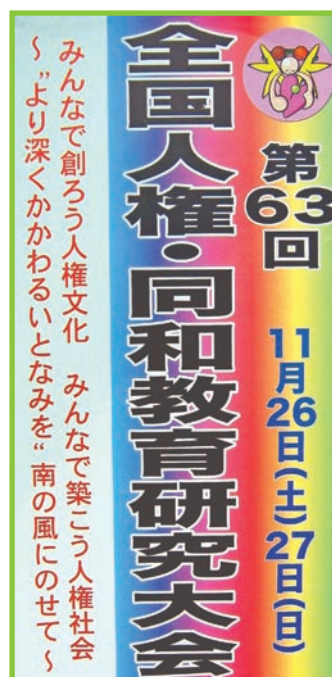
話し合いの様子



全体会の様子

第六十三回全国人権・同和教育研究大会が鹿児島市で開催されました。大会テーマ「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」のもと、地元大会テーマ「みんなで創ろう人権文化 みんなで築こう人権社会」と合わせて、二日間熱心に研究討議がなされました。

全体会の後、各分科会に別れて同



感想文紹介

『差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう』

をテーマとした全国人権・同和教育研究大会が鹿児島市において開催されました。その中で伊予市扶桑会館の職員である梅崎さんが発表された「人権確立をめざすまちづくり」を題材とした分科会に参加しました。梅崎さんによる「ともに学び、つながり合う講座へ」の発表では講座を通して様々な立場の方が出会い、その参加者同士の声や想いを大切にする取組が、参加者の意識の変容等に広がっていく様子について話され、人権教育講座で出会って学び合うことの大切さを改めて実感しました。

差別というものは、人と人との切り離すものです。その差別を少しでも減らしていくためには、人と人を豊かにつなぎ、自分自身もつながっていく、本音を話せる環境、そのよくな人間関係を築き広げていくことが重要であると感じました。

しかし、現実には差別はまだまだ存在し、現在でも差別を受けて厳しい状況に置かれている人たちがいます。講師の方が言われた「自分自身にもある差別性に目を向ける」という言葉にはハッとさせられました。差別はそつとしておけばなくなるものではありません。差別の現実から深く学ぶ姿勢も大切ですが、自分自身の内面も見つめ、そのような視点をもって関わっていき取り組んでいくことの重要性を痛感させられました。

最後に、私たちは差別をなくすために、出会い、学び、つながり、一歩一歩着実に取り組んでいき、誰も



分科会の様子

しかし、今回のビデオの内容は身近な人権問題が数多く提起されたため、話し合いをもつよい機会となり、多くの感想や意見の出る懇談会となりました。これにより一層充実が図られ意を強くすることができ、改めてビデオ選定の重要さを考えさせられました。また、今年度は、開催された地域に住んでいる児童の人権標語(各学年一句ずつ)の紹介もあり、児童の人権感覚や標語に込められた思いを共感することができました。



地区別懇談会の様子

長年取り組んでいる懇談会では、建設的な意見も出され、意識の変容も見られて多くの成果を上げてきました。が、懇談会への啓発の仕方、会の進め方、参加人数など課題もあります。

今後、このような懇談会を開催し続け、人権確立のまちづくりのために人権問題を深く学ぶ学習の場を充実させ、差別解消に貢献できるように取り組んでいきたいと考えています。

平成23年度 第13回人権を考える市民の集い 人権啓発標語入選作品

多数の応募ありがとうございました。入選作品を紹介します。(敬称略) 応募総数 740 点

小学生	大すきだ みんなのえがお きらきらり	下灘小学校	1年	魚見紅海
	だいじょうぶ? やさしいともだち だあいすき	郡中小学校	1年	谷岡謙助
	ともだち大すき かぞく大すき みんなも大すき	佐礼谷小学校	2年	北岡妃華里
	「たのしいね」 言われたばくも 「たのしいよ」	郡中小学校	2年	中村颯汰
	遊ぼうよ なやんでないで さあ早く	南山崎小学校	3年	清水大晴
	思いやり バトンタッチで つぎつぎと	郡中小学校	3年	山本詩葉
	支えてくれる 親のぬくもり みんなのぬくもり	北山崎小学校	4年	谷泉幸治
	「だいじょうぶ?」 その一言で すくわれる	由並小学校	4年	松本叶夢
	思いやり 幸せ感じる その心	中山小学校	4年	石井杏佳
	ありがとう 笑顔広がる 愛言葉	由並小学校	5年	藤江健吾
	語り合おう 相手と自分の いいところ	伊予小学校	5年	武智太一
	私から あの子の笑顔を さそいたい	郡中小学校	5年	玉岡あずみ
中学生	やさしさの ひびきの数だけ 笑顔咲く	南山崎小学校	6年	山邊志帆
	君がいて だから成り立つ このクラス	伊予小学校	6年	高田陽佑
	強くなれ いじめを止める人になれ	中山小学校	6年	久保幸貴
	つなげよう ぼくの気持ち 届くまで	郡中小学校	6年	藤岡裕二
	それぞれの 色を合わせば にじになる	郡中小学校	6年	吉岡愛加
	そばにいる ひとりじゃないよ みんないる	双海中学校	1年	峯菜月
	一人でも 声かけよう 「大丈夫?」	伊予中学校	1年	西田衣織
	人にはない 自分の輝き 一生懸命輝かせよう	中山中学校	1年	芳之内彩里
高校生	一人でも 多くつなごう 笑顔リレー	港南中学校	2年	田中祐希奈
	人権は みんながもってる心の樹 育てる水は みんなの笑顔	港南中学校	2年	西山あゆ美
	教室は 個性輝く 宝箱	中山中学校	2年	升田美玲
	人とちがう それがあなたの いい個性	伊予中学校	3年	森野将紀
	くらべないで あなたは世界に 一人だけ	伊予中学校	3年	石田文香
	人の数だけ 笑顔があって 人の数だけ 愛がある	中山中学校	3年	安永孟司
	僕と君 違いがあるから つながれる	伊予農業高等学校	1年	河崎孝平
	助け合おう 人は一人じゃ生きられない	中山高等学校	2年	西岡大将
一般	「大丈夫」 その一言で 助かる命	伊予農業高等学校	3年	西村慶宏
	君だって きっとだれかの 宝もの	中村		土居裕和
	知らんぷり それもいじめの第一歩	稲荷		田中由美
	待ってるよ あなたの一言 あなたの手	尾崎		武智早紀
	差別の芽 植えない 出さない 持たせない	本郡		高石久美子
	君のこと 必ずいつも 見ているよ	中山町佐礼谷		上岡秀徳
	見ぬふりで 後悔するより 少しの勇氣	大平		越智恵
	さしだした その手と言葉は あたたかい	大平		荻山千里
	偏見の芽を摘む 勇氣 私から	米湊		日野桂子
	おはようで 今日一日が 明るい日	米湊		武智冷子
	差別する 親の姿を子が見てる	下三谷		日野八江
	うちの子も よその子も みんな日本の宝物	中山町出淵		入船文子
	うらやむな くらべるな 人の生き方 暮らし方	大平		鳩根順子
	つなごう 感じよう 人との絆	上野		森本京子
	君と僕 違うからこそ 面白い	下三谷		町田一徳
	思いやり してもされても よい気持ち	上吾川		松田清美
	鉄棒、友達、九九、私 得意が違うのあたりまえ	米湊		松樹清子